

たびとりどり

今日もJALグループの翼をお選びいただき、ありがとうございます。

先日、「世界のホームラン王」王貞治さんとお会いする機会がありました。王さんが理事長をされ、JALも長年お手伝いしている世界少年野球大会（*）の30回目、この夏5年ぶりに福岡県で開催されます。大会には世界13の国や地域から85名の子どもたちが参加し、野球はもちろん、ホームステイや福岡の伝統文化を体験したりしながら、9日間寝食を共にします。今回王さんから改めて、これまで大会に参加した子どもたちの様子をお聞きしましたが、はじめはおっかなびつくり、互いに聞き慣れない言葉に戸惑っている子どもたちが、ひとつのボールを追いかけ一緒に汗をかいているうちに自然と「仲間」になっていくのだそうです。そしてそんな仲間の励ましや協力もあり、野球経験がなかった子も、必ずバットに球を当てられるようになるという喜びがありました。写真から溢れるとびっきりの笑顔や喜びは、ここではか得られない子どもたちだけの宝物として胸の奥に残っていくのだと思います。

子どもたちが進む道はそれぞれですが、き

とこの先も、ここで出会った仲間の故郷は「あの子の国」として頭に浮かぶことでしょう。出会った人を通じてその国や地域を身近に感じ、時に足を運ぶきっかけになる——人と人とのつながりが、また新しい世界を拓いてくれるように思います。私たちがそんな出会いの一助を担い続けていけたらこんなに嬉しいことはありません。どうかこの夏、皆さんにも素晴らしい出会いがたくさん訪れますように。

次回のご搭乗も心よりお待ちしております。

*世界の子どもたちに正しい野球を普及させ、世界平和に寄与することを目的に設立された世界少年野球推進財団が開催している大会。2019年の29回の後、コロナ禍で中断していた。

代表取締役社長
グループCEO

鳥取三津子

とっとりみつこ／1964年、福岡県久留米市生まれ。1985年4月入社（客室乗務員）。2019年に客室安全推進部長、2020年に執行役員 客室本部長、2022年に常務執行役員 客室本部長、2023年に専務執行役員 カスタマー・エクスペリエンス本部長に就任。同年6月に代表取締役専務執行役員、グループCEOに就任し、翌2024年4月から現職。趣味は音楽鑑賞と大河ドラマを見ること。



イラスト／山本祐布子

あの子の国